



2012. 8月発行 No.67

東北森林管理局 藤里森林センター

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

e メールアドレス t-fujisato@rinya.maff.go.jp

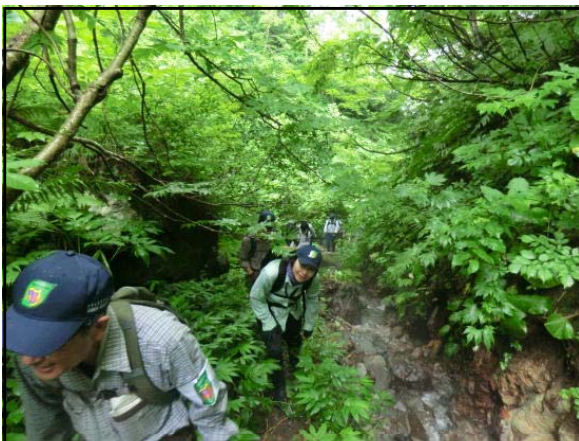
核心地域に入山の形跡 今後もパトロールが必要

白神山地世界遺産地域連絡会議主催の合同パトロールが、7月28日（土）に真瀬岳周辺から青森県追良瀬川源流部（以下追良瀬川源流部）・泊岳山頂・藤里駒ヶ岳登山道の3コースに分かれ、不法行為の未然防止や、入山マナーの啓発指導を目的に行われました。当センターからは、追良瀬川源流部と泊岳山頂の2コースのパトロールに遺産地域巡視員、国や県の行政関係者、報道関係者とともに参加しました。

2コースの参加者は、ブナっこランド駐車場に集合し、東北森林管理局計画部長からの「日ごろの巡視活動に感謝します」とのあいさつを受けた後、それぞれのコースに向かいました。追良瀬川源流部は、中ノ沢林道終点から、まずは県境を目指しひたすら沢を登り約2時間、県境からまたひたすら沢を下り1時間、白神山地世界遺産地域の核心地域と緩衝地域の境に着きました。当日に人の入った形跡はありませんでしたが、4～5日前に入山した形跡がありました。下山後の意見交換では「秋田県側からの入山者がいると思われることから、今後もパトロールを続けていく必要がある」等の意見が出されました。



パトロールについての説明（出発前）



追良瀬川源流部コース（沢登り中）

泊岳山頂コースでは、やぶに覆われた巡視管理道を登ること1時間30分で山頂に至りました。恒常的に人の出入りはなく、不法行為等の形跡もありませんでした。泊岳からニッ森登山口に移動し、清掃活動を行い下山しました。意見交換では「巡視管理道の状態が悪く危険であるため、一定の刈り払いの必要があるのではないか」等の意見が出されました。

今回のパトロールでは、悪質な行為の跡はありませんでしたが、引き続き巡視パトロールを行い白神山地世界遺産地域内の保全管理につとめていきたいと思っています。

雨の中での森林教室

7月13日（金）、能代市立二ツ井小学校の6年生児童51名が岳岱自然観察教育林で森林教室を行いました。時々小雨が降る天候のもと、当センター職員の案内により4班（3コース）に分かれてブナ林を散策しました。

林内では、教材の「葉っぱのビンゴシート」を持参しながら、いろいろな形や大きさの葉っぱを探して歩きました。「この葉っぱは何？」「これホオノキじゃない？」と子供たちから次々質問されて、説明していた職員も驚くほどの反応であり、木の種類を見分けるポイントは葉であることを理解していました。

散策中、ブナの根が岩石を抱きかかえているのを見て、森林が土砂崩れを防ぐ役割をしていることを学んだり、冷たいわき水を飲みながら、雨や雪解け水が森林の土壤に浸透し長い時間をかけてきれいになっていることを実感していました。また、ブナの幹を雨が流れ落ちる「樹幹流」を見たり、森林の中に響く雨の音を聞いたりして、雨の日ならではのブナ林の姿も感じることができました。ブナの幹についているクマのつめ跡や木の枝に産み付けられているモリアオガエルの卵を見たり、森林に住む様々な生きものたちの話も聞きながら、約2時間かけて岳岱の自然を満喫しました。

昼食はバスの中でとることになりましたが、楽しい森林教室になったことでしょう。閉会式では、児童代表の3名から「世界遺産地域と同じようなすばらしいブナ林が見られてよかった。私も大きくなったら白神山地を守っていきたいです。」など、心のこもった感想発表がありました。

また、森林教室終了後にお願いしたアンケートでは「いろいろな形の木、不思議な木があっておもしろかったです。」「ブナの木やほかの沢山の種類の木が、私たちの生活に役立っていることを聞いてびっくりしました。」「モリアオガエルの卵は木に産むことを初めて知りました。」「わき水はすごくきれいな透明色をしていて飲んでみたらいつも飲んでいる水よりあまかったです。」など素直な感想をいただくことができました。

今後も多くの子供たちに少しでも森林の大切さ、自然の素晴らしさを感じてもらえるよう取り組んでいきます。



雨の中でも説明を真剣に聞く子ども達



冷たいわき水、おいしい！

今後の行事予定

9月22日 第2回イベント 初秋の小岳登山（応募締切9月6日）

10月20日 第3回イベント 白神山地での紅葉狩り（応募締切10月4日）

※10月20日～21日 藤里町民祭 白神ふるさと祭り